

令和5年度 小平市立 小平第一中学校 学校評価報告書									
学校教育目標		人権尊重の精神を基調とし、豊かで健康な心をもち、主体的に生き、社会に貢献できる人間の育成を目指し、次の目標をかかげる。 「自主」自ら考え、自ら学ぶ人 「協力」互いに思いやり、力を合わせる人 「健康」心と体を鍛え、たくましく生きる人							
目指す学校像(ビジョン)									
【目指す学校像】		・生徒が毎日楽しく通えて自分の力を伸ばすことができる ・教職員が働く喜びと誇りを持てる ・保護者が安心・信頼をもち子どもを通わせられる ・地域が学校と力を合わせ子どもたちを育てる実感。							
【目指す児童・生徒像】		・深く学び深く考え、よりよい生き方に向け主体的に努力する ・自分や人のよさを認めると共に、正しいことは臆せず正しいといえる ・基本的な生活習慣が身に付いた、心身共に健康な生徒							
【目指す教員像】		・よりよい教育活動について考え行動できる ・生徒一人一人を心から慈しみ、それぞれのよさを認め伸ばす ・地域保護者と力を合わせ教育活動に取り組む教職員							
前年度までの学校経営上の成果と課題									
・学習者用端末の活用についてそれぞれの教員が慣れてきたこともあり、様々な工夫が見られ、生徒の学力向上につながっている。 ・正式にCSとしてスタートをし、各委員から学校経営に向けた知見を得て、学校経営に活かすことができた。									
	具体的方策	第1回評価		成果・課題・対策	第2回評価		学校関係者評価	成果・課題・次年度以降の対策	
		取組指標	成果指標		取組指標	成果指標			
学 力 向 上	主体的に学習する場面の設定、家庭学習支援などの学習意欲の向上をねらいとした指導の実施	2	3	小平市の研究指定を受け、探究学習について2か年の研究に取り組むこととした。初年度は講師からの指導を受けたり、民間企業との連携等を通じ研究の進行を図った。	3	3	・生成AIの活用も含め、生徒の学習の在り方を考えていくことが重要。その中で「探究学習」への取組は貴重であり、期待をする。	・7年2月の研究発表に向け、具体的な取組や調査の継続をし、広く発信できるようにする。	
	主体的に学習する場面の設定、家庭学習支援などの学習意欲の向上をねらいとした指導の実施	4	4	小中連携事業の中でロイロノートの活用についての研修を進め授業の取り入れた。学習者用端末を用いた授業の各教科で拡大することができた。	4	4		・次年度「スタディサプリ」の導入を計画している。自学自習にもICTの活用を進めていきたい。	
健 全 育 成 (いじめ防止)	生徒の人権意識を高め、差別意識をなくすと共に自尊感情を高める指導を進める。	3	3	・道徳科の授業を核に人権意識の向上を図ると共に、毎月のいじめアンケート、それにかかわるケース学習等を通し、いじめの未然防止を進めた。	3	3	・いじめはあってはならないものであり、引き続き指導の徹底をしてほしい。	・引き続き毎月の調査とケーススタディの機会を設けいじめ防止の意識啓発を図ると共に、今年度同様道徳科を核に人権教育の推進を図る。	
	日常的に情報収集、共有に努め、家庭、関係機関とも連携し「不登校になる前」の支援を目指す	2	3	・生活指導部からの適宜の資料提供と学年、学級での指導の機会を複数回設け指導をしたが、何件かSNSの不適切な使用の事例があった。	3	2		・各学年でSNSの適切な活用に向けた学習の機会を設け指導していく。	
特色ある学校づくり	生徒の読書量の向上を図る。	3	4	・生徒の読書意欲の向上に向け、司書教諭、学校司書と連携し、購入図書に向けた工夫をしたほか、図書委員会の活動を通して全校生徒への呼びかけを行い、読書の推進に努めた。	4	4	・学校の特色として定着してきていることは喜ばしいこと。さらに工夫を重ねてほしい。	・学年ごとに読書冊数の差が出がちで、特に中2進級後の読書数が伸びない傾向があるので、学年に応じた読書推進の取組を考えていきたい。	
	学校図書館、公立図書館を活用した授業を進める。	2	3	・昨年度まで実施していた商用データベースの活用についての指導ができなかった。探究学習の充実に向け、今後活用の活性化を図る。	2	3		・探究学習に向け、図書使用の積極的な活用と、活用の方法についての学習を進め、学習と図書館のより密接な関係形成を進める。	
地域連携	学校運営協議会において、課題を明確にしたうえで日常的な意見交換等、積極的な活動を進める	3	3	・日頃のchatを通じての意見交換を通し、学校経営に係る知見を広げることができたほか、行事等を参観していただき、改善に向けた意見を聞くことができた。	3	3	・今後chatの活用はもちろん、直接意見交換する場をもう少し増やしていくことも必要だと思う。	・オンラインと共に実際に顔を合わせる会議の回数を増やし、委員間の意見交換がさらに深まるような仕組みづくりに努める。	
業務改善・働き方改革	タブレット端末の活用などの業務改善を進める。	3	3	・保護者への連絡の多くをメール発信にしたほか、アンケートについてもメールでの配信にしたため、集計等についての大幅な時間短縮が図れた。	4	4	・業務改善を進めていることがよくわかった。さらに改善に向け、提案できることがあれば協力していきたい。	・5年度には様々な省力化を図ることができた。他に省力化できる余地がないかどうか、学校もPTAも連携しつつ研究していく。	
	職員の時間外勤務の実態把握を行い、減少させるよう取組を進める。	3	3	・学校全体としては勤務時間の短縮が順調に図れている。一部の教員についての継続的な声掛けが必要。	3	2			